

## 平28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	駒ケ根発きもの文化伝承事業
事業主体 (連絡先)	駒ケ根発きもの文化伝承プロジェクト 駒ケ根市北町 24-17
事業区分	ソフト事業
事業タイプ	(3)教育、文化の振興に関する事業
総事業費	1,083,013 円 (うち支援金 : 541,000 円)

### 事業内容

富岡製糸場(群馬県)の世界遺産登録後、信州シルクロード観光、シルクに関連するブランド化に特化するため駒ケ根シルクミュージアムで初めて、地域に伝わる「伊那紬」や花嫁の打掛・引き振袖を使った「オータムリーブス(紅葉)と着物の縁」というきものファッションショーを行なった。駒ケ根市長・長野県看護大学の学生・プロのモデル・男性のモデル等、シルクミュージアム館内を「ランウェイ」にて、ファッションショーを行った。関東経済産業局、結城市役所からも結城紬で参加して頂き地域資源の魅力を発信した。

また国際広場のステージで外国人の方に花嫁姿になっていただき、国際貢献もおこなった。



【きものファッションショー】

### 【目標・ねらい】

- ① シルクミュージアムの使い方
- ② きものを着た参加者
- ③ 伊那紬のオリンピックの活用
- ④ インバウンド花嫁撮影ロケ

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

「2020 東京オリンピックにむけたシルクの可能性」と題し東京農業大学の長島教授に講演して頂き、駒ケ根市の伝統工芸品「伊那紬」を使った、金メダルのストラップを企画開発し東京オリンピックに使ってもらえるように駒ケ根市長から、地域活性化のアクションをおこした。また駒ケ根市議会でも新しいシルクミュージアムの使い方として質疑応答してもらえなど、行政・観光を巻き込んだ事業効果をおこしている。

海外へのインバウンド、花嫁きもの姿ロケ撮影等の観光旅行の企画も台湾にむけ、地域活性化で企画している。

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

シルクミュージアムの新しい使い方  
の発信と伊那紬の東京オリンピック  
企画商品の開発

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成29年度11月3日にシルクミュージアムクラフト展の15周年記念事業が開催されます。この記念すべき15周年に、全国各地からみえるクラフト作家・織物作家に駒ケ根発きもの文化伝承プロジェクトとして、ファッションショーを開催して、駒ケ根シルクミュージアムの新しい事業を周知することにより、事業効果を全国に発信していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある